

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいいしや うりんこ 株式会社 うりんこ		
代表者職・氏名	代表取締役 児玉俊介		
制作団体所在地	〒 465-0018		
	愛知県名古屋市中区八重一丁目112番地		
電話番号	052-772-1882	FAX番号	052-771-7868
ふりがな 公演団体名	げきだんうりんこ 劇団うりんこ		
代表者職・氏名	代表 児玉俊介		
公演団体所在地	〒 465-0018		
	愛知県名古屋市中区八重一丁目112番地		
制作団体 設立年月	1973年 5月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 児玉俊介 運営委員長 佐々木政司 務局長 西尾ひろみ	事 団員構成員32名(演技部23名、制作部9名) 加入条件 一年間の付属演劇研究所卒業と入団試験での合格	
事務体制の担当	専任		西尾栄儀、西尾ひろみ
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	中村敬子

制作団体沿革	昭和48年 劇団うりんこ創立。昭和51年 株式会社 劇団うりんこ設立。 昭和54年 劇団うりんこ付属演劇研究所創立。 昭和55年 名古屋市芸術奨励賞 団体賞受賞。平成 4年 愛知県芸術文化選賞受賞。 平成 7年 (社)日本劇団協議会入会。 平成13～15年 文化庁芸術団体重点支援事業。 平成18年 児童福祉文化賞「だってだってのおばあさん」 平成23年 名古屋市文化振興事業団『第27回 芸術創造賞』受賞 平成24年 児童福祉文化賞「ぼくってヒーロー？」 平成25年 児童福祉文化賞「ねむるまち」 平成29年 厚生労働省社会保障審議会特別推薦「ともだちやーあいつもともだちー」 平成30年 厚生労働省社会保障審議会特別推薦「夜明けの落語」 令和2年 厚生労働省社会保障審議会特別推薦「きみがしらないひみつの3人」 令和3年2月 法人名を、株式会社 うりんこ に変更			
学校等における公演実績	平成30年度:合計8作品367回(「罪と罰」6回 「ダイアル ァ ゴースト」24回 「夜明けの落語」65回 「ともだちやーあいつもともだちー」66回 「名探偵! 山田コタロウ」59回 「学校ウサギをつかまえろ」84回 「はなのき村」62回 「ドン・キホーテ」1回) 平成31年度(令和元年度):合計10作品336回(「罪と罰」5回 「ダイアル ァ ゴースト」17回 「夜明けの落語」66回 「ともだちやーあいつもともだちー」46回 「なんちゃってヒーロー」32回 「学校ウサギをつかまえろ」81回 「きみがしらない ひみつの三人」31回 「海彦と山彦」8回 「はなのき村」49回 「ドン・キホーテ」1回) 令和2年度:合計12作品327回(「小学校宇宙ステーション」56回 「こだぬきコロッケ」12回 「なんちゃってヒーロー」45回 「わたしとわたしぼくとぼく」28回 「ともだちやーあいつもともだちー」23回 「きみがしらないひみつの三人」34回 「クローゼットQ」8回 「ダイアルアゴースト」10回 「学校ウサギをつかまえろ」50回 「キッドナップ・ツアー」15回 「はなのき村」25回 「海彦と山彦」21回)			
特別支援学校における公演実績	愛知県立港特別支援学校2008年7月11日 愛知県立安城特別支援学校2009年2月18日 栃木県立那須特別支援学校2016年11月14日(本事業) 愛知県立豊橋特別支援学校2018年11月21日(本事業) 愛知県豊田市立特別支援学校2019年7月5日 大阪府立平野支援学校2021年7月6日予定(本事業)			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	PW:			

公演・ワークショップの内容			【公演団体名 劇団うりんこ 】			
対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	ともだちやーあいつもともだちー					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目:「ともだちやーあいつもともだちー」 原作:内田麟太郎(「ともだちや」「あいつもともだち」「ともだちごっこ」(偕成社) 脚本・演出:佃典彦 美術:青木拓也 衣装:木場絵里香 音楽:内田アダチ 音響:椎名KANS 振付:下出祐子 公演時間(65分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	【あらすじ】 一人ぼっちで寂しがりなキツネは、ある日「ともだちや」を始めました。一時間100円で「ともだち」になってあげる商売です。のぼりを立て大声で「えへ、ともだちやでへす。寂しい人はいませんか〜? 友達、一時間100円でへす」と呼びかけます。でも、友達って買えるのかな? 本当の友達って、どんなんだろう? 友達と心がすれ違っちゃったら、どうしたらいいんだろう? ちょっとの勇気で、友達が増えるって幸せだね。「ともだち」との様々な心のやり取りを描いた演劇です。 【みどころ】 長年、子どもたちに大人気の絵本「おれたち、ともだち」シリーズの劇化です。低学年も高学年にも共感できる「友達との関わり」を描いており、興味関心を持って楽しく鑑賞できる演劇です。3人の俳優が9役を演じ、友達をめぐる様々な感情や関係の変化を描きます。また、舞台美術の変化や音楽的効果で季節の移り変わりを表現し、観客の想像力を刺激します。キツネやオオカミ、クマ、デン、ヘビなどの動物は、絵本に描かれている姿を忠実に表現しており、見た目にも見応えある演劇です。					
演目選択理由	「デンとけんかしちゃったけど、ごめんね、を自分で言えてたのが 良かったなあ〜と思いました。」「この劇を観て、友だちは自分の事をどう思っているのか、気になりました」これは、劇を観た児童の感想です。 友達とは、多くの喜びを共有し、苦しさや悲しみを分かち合う存在です。しかし、学校生活において人間関係のトラブルや、人間関係でのストレスを抱える事例も多くみられます。この演目には、子どもたちが普段行っている遊びや、感じていることがたくさん出てきます。友達と一緒に遊ぶ楽しさ、意地悪や、ヤキモチの気持ちも出てきます。低学年から高学年まで、幅広い年齢の児童生徒にとって身近であり、興味深く鑑賞できる演目であることが選択の理由です。この「ともだちやーあいつもともだち」は、平成29年度厚生労働省社会保障審議会の児童福祉文化財特別推薦を受けています。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【共演の形態】共演の児童生徒は、20人程度(4年生以上)を予定しています。 登場人物のキツネが、オオカミの助けを得てヘビと友達になった場面で共演します。俳優と一緒に「だるまさんがころんだ」をアレンジした遊び「だるまさんが〇〇した」を演じます。〇〇の部分では児童生徒が自ら考えて身体表現を行います。台詞も児童生徒のアイディアを活かしてつくり、上演校独自の共演場面を創作します。 【体験の形態】上演後、バックステージツアーを実施します。限られた運搬量の演目でありながら、見栄え良い舞台装置にするための工夫や、衣裳の早替えの工夫や、俳優が演技をしながら音響の操作を行うための工夫などを見学してもらいます。 舞台裏見学を通して演劇への興味を多方向から持ってもらう事で、舞台芸術に対する興味関心を喚起し、将来の芸術家育成や鑑賞能力向上に寄与したいと考えています。					
出演者	佐々木政司、和田幸加、山内庸平					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 3 名 スタッフ: 1 名 合 計: 4 名		機材等 運搬方法		積載量: 1.15 t 車 長: 4.99 m 台 数: 1 台	

【公演団体名 劇団うりんこ 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時30分～14時35分	0分	15時～16時	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		40名(1クラス程度)			
	本公演		250名以下			
ワークショップ 実施形態及び内容	【実施形態】4年生以上、1クラス単位(40名程度)で行う。ワークショップ指導経験者が2名で指導する。共演場面の練習に限らず、“演劇的表現”を楽しむためのワークショップや、子どもたちのコミュニケーション力や表現力向上をはかる活動を実施する。 【ワークショップ内容】(導入)アイスブレイクのための活動 (展開①)コミュニケーションを楽しむ活動。想像を楽しむ活動。小集団での創作活動(身体表現) (展開②)共演場面の内容を伝える。児童生徒のアイディアを活かし、場面内容にあったセリフや身体表現をつくり、実施校独自の共演場面を創作する。(まとめ)参加共演場面を演じる。					
ワークショップ 実施形態の意図	・鑑賞をより豊かな体験とするために、想像力を育むことを目的とした身体表現活動を行う。 ・小グループでの創作活動を行うことで、言語によるコミュニケーション(受信と発信)や他者との合意形成の体験を提供する。 ・児童生徒のアイディアを活かした共演場面の創作により、自らのアイディアが共演場面の創作に活かされる体験を通し、発想力の育成と共に自己肯定感や自信を育む。					
特別支援学校での 実施における工夫点	特別支援学校においても、特に変更なく実施が可能。 先生方と綿密に話し合い、必要に応じて共演内容などを工夫する。 児童生徒が心身ともに安定した状態でワークショップに参加、鑑賞できるよう、また舞台をより身近に感じられるよう、上演の前後に出演俳優と触れ合う機会を設けるなど工夫をする。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

劇団うりんこQ&A

Q:「うりんこ」って何のことですか？

A:イノシシの子どものことです。イノシシの子どもの体にはしまようがあって、それがマクワウリににていることから、イノシシの子どものことを「ウリの子」と言うようになったのです。ウリノコのように元氣よくまっすぐに走っていかうという思いで、「劇団うりんこ」という名前を選びました。

Q:うりんこはどんな劇団ですか？

A:子どもや若者が生き生きと夢を持って生きていくことを願って、お芝居を演じています。そのために、お芝居だけでなく、教育の問題や子どもたちの文化についての活動も幅広く行っています。うりんこ劇場という小さなホールで、クリスマス公演、夏休み子ども劇場など、楽しいお芝居を地域のファミリーに向けて演じたり、コンサートを開いたりしています。劇団うりんこの創立は1973年、うりんこ劇場は1986年に出来ました。

げきになったのはこの3冊！



「おれたち、ともだち」シリーズ既13巻。
その中から『ともだちや』『あいつともだち』『ともだちごっこ』(内田麟太郎・作 降矢なな・絵 偕成社刊)の3作をセレクト。

れいわ さんねんど ぶんかげいじゅつ こだもいくせいそうじょうじぎょう
令和3年度文化芸術による子供育成総合事業
-巡回公演事業-
じゅんかいこうえんじぎょう

げきだん
劇団うりんこ 児童劇公演

あいつともだち

原作○内田麟太郎 絵○降矢なな『あいつともだち』『ともだちごっこ』(偕成社より)
脚本・演出○佃 典彦
美術○青木拓也 照明○四方あさお 衣裳○木場絵理香 音楽○内田アタチ
音響○椎名KANS 振付○下出祐子 デザイン○伊藤祐基 写真○清水ジロー

ぶんかげいじゅつ こだもいくせいそうじょうじぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが履けた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

劇団うりんこ

TEL.052-772-1882 FAX.052-771-7868
〒465-0018 名古屋市中東区八前1-112 www.urinko.jp info@urinko.jp



文芸春秋

どもだちや
あいつもともだち

ええ～、
さびしいひとは
いませんかあ～
ともだちやで～す。

ともだち いちじかん
ひやくえんで～す。

おはなし

「ともだちや」というお店を始めた
キツネ。1時間100円で友だちに
なってあげようというのだ。そんな
時、「トランプの相手をしる」と、声
をかけてきたのはオオカミ。トラン
プで遊んだ後にキツネがお代を
請求すると、オオカミは目をとが
らせ怒った…。「それがほんとうの
ともだちか。」

お、お前は友だちから
金を取るのか…

2

テンは、笛がとっても上手な
女の子。
キツネに、「明日一日、オオカ
ミと会わずに過ごせる?」と聞
く。キツネは、オオカミとの約
束を破ってテンと遊ぶ。でも
キツネの頭の中は、オオカミ
のことについていっぱい。

何よ!今日は友だちの
言ったじゃないの!



ヒッ…
へビさんは昔手
なんだよなあ～。

3

キツネは、森の仲間のへビのこと
が少し苦手。冬ごもり前のお別れ
の挨拶も、へビとはできなかった。
オオカミと遊んでいても、年賀状
を書いていても、冬眠中のへビが
心に引っかかって仕方ないキツ
ネ。そして春がやってきて…。

7

ID	K152	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	H/I/J	区分	C区分
公演団体名	[C区分]劇団うりんこ				制作団体名	株式会社 うりんこ			

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	不要	条件				—		
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *		バン		1台		不可		
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		1.15tバン 長さ4.99m 幅1.69m 高さ2.28m					不可	
	搬入車両の横づけの要否 *		要					可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		30m以内					可	
	搬入経路の最低条件		・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					可	
	理由		・雨天の場合、大道具・小道具が濡れないようにするため (いずれも対応について相談可能です) ・体育館横づけ不可の場合、昇降口から搬入することも可能です。						
	設置階の制限 *		3階以上エレベータの設置が望ましい					可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8		高さ	1.8	可	
	WSについて	参加可能人数		40人まで(内 共演参加者10人)					可
学年の指定の有無 *		あり	指定学年 *	高学年		中学年	可		
所要時間の目安 単位:分		90分程度					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		客席として、ステージとフロアを使用できる場合250人程度まで					可	
	舞台設置場所 *		フロア					不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10	奥行	8	高さ	4	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要				—
		舞台袖スペースの条件 *							—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—	
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由					—
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				—
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量		20A	※主幹電源の必要容量				可	
	その他特記事項							応相談	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8	高さ	1.8
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

